

視察等報告書(個人用)

令和元年 11 月 6 日

知立市議会議長 様

報 告 者	神谷 定雄
日 時	令和元年 10 月 30 日～31 日
視 察（研修）場 所	高知県 高知ちばさんセンター
目 的	全国市議会議長会研究フォーラム

第 14 回 全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

【一日目】

【基調講演/現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性】

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島 岳志氏による「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」である。中島氏は『リベラル保守宣言』（新潮文庫）などの著者である。

政治のマトリクスの縦軸に配分を巡る軸を置き、横軸に価値をめぐる軸を置く。縦軸の配分をめぐる軸とは、リスクの社会化とリスクの個人化で対比される。横軸の価値をめぐる軸とは、リベラルとパターナルで対比される。様々な社会情勢の変化によりその中の座標は変わる。歴史的な出来事からも、政治とは物語を設定することが重要である。なぜ？いま？人々の心を動かすには理由が必要だからである。

また、「保守主義的思考」の著者のカール・マンハイムは「保守と呼ばれる主義の中にも、自然的保守主義と近代的保守主義があり、普遍的な人間の本性としての保守と、ひとつの特殊な歴史的・近代的現象としての保守を区別する」としている。

【パネルディスカッション/議会活性化のための船中八策】

地方議会 3つの悩み（なり手不足・女性議員ゼロ・3ない議会）について

【一日目所感】

中島氏の講演は、専門的な部分が多いが、歴史的背景を踏まえて現状を掘り下げていてとても興味深いものでした。政治のマトリクス話を聞き、マトリクスとは、本来「生み出すもの」という理解がありますが、各政界の在り方から、また、関係性から生み出すものの考え方と理解を学びました。

リスクの社会化とリスクの個人化、リベラルとパターナルのどの座標軸で思考するかで人や政治の考え方は様々ですが、そんな、様々な考え方の中で偏ることなく新しい考えを持ち、多様化した方向性を見出すのが議会改革であり、議員の役割であると考えます。

パネルディスカッションでは女性議員を増やすことに焦点があてられ、興味深い意見も聞きました。我が市も定数 20 名に対し、女性議員が 4 名であるため、議会選挙で男女の候補者数をできる限り「均等」にするよう政党に求める候補者男女均等法にはまだ遠く、これからも改善に向けて実行していかななくてはならないと考えます。

3ない議会と呼ばれる「議案への議員個人の賛否を公開しない」「首長の提出した議案を修正・否決しない」「議員提案の政策条例を判定していない」議会では、全くの茶番であり、まるで学芸会のような予定調和の政策に市民は全く興味が持てず、それが若い世代の政治離れにもつながっています。

新しい世代が政治に興味を持ってもらう為には、議員がガチンコでリアルに意見をぶつけ合い議論し、それを市民の皆さんに見せていくことが今後の課題であると考えます。

具体的な実行方法として、議員提案の政策条例を、効果があるのか？を出来るだけ緻密に数値化し、最も効果のあると思われる事案を採用しようとする EBPM を活用し、議決した政策は、計画を立て、計画を実行し、行動を評価し、改善して次につなげる PDCA を実行することが重要だと考えます。

【二日目】

【課題討議/議会活性化の為に船中八策】

コーディネーターは初日に続いて、朝日新聞論説委員坪井 ゆづる氏。事例報告者は、上越市議会議員 滝沢 一成氏、鎌倉市議会議員 久坂 くにえ氏、周南市議会議員 小林 雄二氏の3名。

【上越市議会議員 滝沢 一成氏/議会の見える化について】

上越市議会にはありとあらゆる方法で情報を開示していると言う。ホワイトボードミーティングを導入し、声の大きい議員の声が通りがちな会議をすべての人の意見をフラットにすることができる。若者と女性を取り込むことが議会改革につながる。議会モニター制度も設けていてアンケートモニター300人とコアモニター30人で構成されている。

【鎌倉市議会議員 久坂 くにえ氏/妊娠・出産における様々な問題について】

妊娠して出産となったときに様々な問題が顕在化してきた。会議規則に出席が欠席事由として規定されておらず産前、産後など期間の定めもなかった。また会議運営も夜9時10時当たり前であり、とてもではないが子育てと議員の両立はとてつもない厳しいものであったと言う。また、職員の超過勤務の問題にもなっていた。現在は、2015年女性活躍推進法施行により、男女の個性を発揮し家庭生活との円滑な両立が図れるようにはなってきた。出産議員ネットワークがあり、出産を病気扱いされた、夫に頼るにも限界がある、など様々な意見が集まってきているという。重要なのは、休暇制度について明文化されているかと言う点。会議規則は自ら変えられるので会議規則の改正が必要だ。多様な人材と幅広い年齢層を受け入れることで議会の価値を高められる。

【周南市議会議員 小林 雄二氏/議会基本条例に捉われない議会運営について】

キーワードは公開と対話だ。形より実にかかわってきたという。議会基本条例に縛られ、柔軟な対応ができない可能性があるために制定しない選択をした。

【各議員への質問：行政監視機能を果たした例】

- ・上越市：委員会の資料がかなり詳細になっている。状態目標、数値目標、具体的な取り組み内容などがネットで公開されている。各政策における3ヵ年くらいの数値の変化、未達成の理由やお金のバランスなども詳細にチェックしている。
- ・鎌倉市：予算案に対する減額修正、超党派による視察、所管事務調査の積極的实施など。減額修正は、新しく建設するゴミ処理施設で行われた。個別収集の額、生ゴミ処理施設、周辺住民周知状況などの根拠を示して実施した。政策法務研究会（鎌倉市自転車の安全利用を促進する条例：制定）で様々な条例を制定している。
- ・周南市：所管事務調査を積極的に行っている。各委員会ごと詳細に。指定管理者制度に関する調査を議員研修会で学習した上で市内の73施設全てに調査票を出させた。

【各議員への質問：住民の声をどう活かしているのか】

- ・上越市：テーマを決めて意見交換会を行う。（例：農協、ケアマネ等）各常任委員会が広報公聴委員会と組んで実施する。
- ・鎌倉市：鎌倉市の環境客に対するマナーに関する条例：参考共生社会条例など市民からの声を政策提言を政策提言につなげている。議会報告会江尾行っているが、参加者が固定されるという問題もある。
- ・周南市：請願、陳情等は休憩時間内で質疑応答をしている。

【議論まとめ/船中八策】

1. 行政監視機能の向上 決算委員会活用 資料 4P 栗山町議会の条文
2. 次世代を見据えた議論 未来カルテ : アプリ
3. データを踏まえた議論 抽象論 根性論ではない
4. 多様性の担保
5. 96条 1項 2項
6. 労働環境 国制度も変えないと
7. 情報公開を徹底
8. 討議が絶対に必要